



平成29年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年3月30日

上場会社名 株式会社マルマエ

上場取引所 東

コード番号 6264 URL <http://www.marumae.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 俊一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 藤山 敏久

TEL 0996-64-2900

四半期報告書提出予定日 平成29年4月14日

配当支払開始予定日

平成29年4月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第2四半期の業績(平成28年9月1日～平成29年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第2四半期	1,296	12.6	277	4.0	270	8.0	184	5.8
28年8月期第2四半期	1,151	12.5	267	55.8	250	48.7	173	4.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第2四半期	17.47	
28年8月期第2四半期	16.51	

(注) 当社は、平成29年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年8月期第2四半期	2,887	1,120	38.8
28年8月期	2,569	978	38.1

(参考) 自己資本 29年8月期第2四半期 1,120百万円 28年8月期 978百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期		7.00		8.00	15.00
29年8月期		8.00			
29年8月期(予想)				4.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年3月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成28年8月期及び平成29年8月期第2四半期末は株式分割前、平成29年8月期期末(予想)は株式分割後の配当金の額を記載しております。

3. 平成29年8月期の業績予想(平成28年9月1日～平成29年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,494	11.2	494	1.1	479	4.5	321	11.7	30.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年3月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。業績予想の1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式数除く)により算定しております。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)追加情報」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年8月期2Q	11,192,400 株	28年8月期	11,192,400 株
期末自己株式数	29年8月期2Q	656,764 株	28年8月期	656,764 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年8月期2Q	10,535,636 株	28年8月期2Q	10,535,684 株

(注)当社は、平成29年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると断定する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1)経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、一部に改善の遅れもみられましたが、輸出や企業の景況判断は改善し、企業収益や雇用・所得環境の改善や消費者物価の持ち直しの動きがみられるなど緩やかな回復基調が続きました。

当社の主な販売分野である半導体業界におきましては、ロジック系半導体に対しては微細化投資が続いたほか、データセンターサーバーのSSD化等の需要拡大を背景に、3DNANDを中心として投資拡大が積極的に行われました。FPD業界におきましては、国内の中小型液晶パネル向けの設備投資が一段落したことで一時的に低迷しましたが、中国向けの設備投資需要が拡大してきました。

このような経済状況のもと、半導体分野では、需要拡大に合わせて、当初予定以上に生産設備増強や流動的人材の確保を行うなど生産体制の強化を図り、売上高は順調に拡大しました。FPD分野では、第1四半期は液晶設備投資の停滞に伴い一時的に売上高は停滞しましたが、第1四半期後半から有機EL向けと第10.5世代液晶パネル向けの受注が拡大し、第2四半期は売上高も順調に回復しました。また、損益面では、来期に向けて急拡大する需要に備えるための生産設備増強を進めていることや人材採用を積極的に進めていることで、減価償却費や労務費等の増加が発生し、売上高増加により材料費と外注加工費も増加したことで製造原価は増加しました。販売費及び一般管理費につきましては、研究開発費が増加したことを主因に前年同期より27百万円増加しました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高が1,296百万円(前年同期比12.6%増)、営業利益は277百万円(前年同期比4.0%増)、経常利益は270百万円(前年同期比8.0%増)、四半期純利益は184百万円(前年同期比5.8%増)となりました。

なお、当社は精密部品事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資産の状況

(資産)

前事業年度末に比べ、317百万円増加し2,887百万円となりました。主な内容は、現金及び預金が73百万円、電子記録債権が16百万円、有形固定資産が211百万円、たな卸資産が47百万円各々増加し、受取手形及び売掛金が30百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

前事業年度末に比べ、176百万円増加し1,767百万円となりました。主な内容は、長期借入金が173百万円、支払手形及び買掛金が11百万円、1年内返済予定の長期借入金が36百万円、未払法人税等が19百万円各々増加し、その他流動負債が64百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

前事業年度末に比べ、141百万円増加し1,120百万円となりました。主な内容は、四半期純利益の計上により利益剰余金が141百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前事業年度末の38.1%から38.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ73百万円増加し、587百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、284百万円(前年同期は215百万円の獲得)となりました。これは主に、増加要因として、税引前四半期純利益272百万円、減価償却費93百万円、減少要因として、たな卸資産の増加額47百万円、法人税等の支払額81百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、379百万円(前年同期は256百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出375百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、167百万円(前年同期は22百万円の使用)となりました。これは長期借入れによる収入420百万円、長期借入金の返済による支出210百万円及び配当金の支払額42百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績は好調に推移していることから、通期業績予想につきまして平成28年12月19日の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて業績予想を修正しております。

売上高は、半導体分野とFPD分野において当初想定以上の受注が得られる見込みとなったことから、増額修正いたしました。損益面は、売上高増加を主因といたしまして、営業利益、経常利益及び四半期純利益ともに期首予想を上回る見込みとなりました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	513,953	587,167
受取手形及び売掛金	359,398	329,203
電子記録債権	339,704	355,800
商品及び製品	47,599	54,145
仕掛品	111,973	152,158
原材料及び貯蔵品	4,006	4,277
その他	40,222	36,700
貸倒引当金	△1,468	△1,437
流動資産合計	1,415,390	1,518,017
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	342,364	418,984
構築物(純額)	8,610	13,383
機械及び装置(純額)	480,053	573,037
車両運搬具(純額)	4,616	18,693
工具、器具及び備品(純額)	3,422	5,855
土地	289,783	308,043
建設仮勘定	4,886	7,446
有形固定資産合計	1,133,737	1,345,444
無形固定資産	13,260	16,862
投資その他の資産	7,301	7,301
固定資産合計	1,154,298	1,369,607
資産合計	2,569,688	2,887,624
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	69,033	80,970
1年内返済予定の長期借入金	150,156	186,276
未払法人税等	84,550	104,218
受注損失引当金	4,000	4,900
その他	176,268	111,352
流動負債合計	484,008	487,717
固定負債		
長期借入金	1,084,561	1,257,846
退職給付引当金	3,812	5,247
資産除去債務	1,643	1,651
その他	16,920	14,549
固定負債合計	1,106,936	1,279,293
負債合計	1,590,945	1,767,011

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	135,850	135,850
資本剰余金	19,850	19,850
利益剰余金	823,102	964,973
自己株式	△59	△59
株主資本合計	978,743	1,120,613
純資産合計	978,743	1,120,613
負債純資産合計	2,569,688	2,887,624

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)
売上高	1,151,755	1,296,966
売上原価	754,423	861,496
売上総利益	397,331	435,470
販売費及び一般管理費	130,252	157,802
営業利益	267,079	277,667
営業外収益		
受取利息	33	30
為替差益	—	2,866
その他	673	524
営業外収益合計	707	3,421
営業外費用		
支払利息	12,519	10,649
その他	4,826	50
営業外費用合計	17,345	10,699
経常利益	250,440	270,388
特別利益		
固定資産売却益	6,199	1,999
補助金収入	10,141	—
特別利益合計	16,340	1,999
特別損失		
固定資産除却損	—	30
特別損失合計	—	30
税引前四半期純利益	266,781	272,358
法人税、住民税及び事業税	32,868	97,433
法人税等調整額	59,988	△9,088
法人税等合計	92,856	88,345
四半期純利益	173,925	184,012

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	266,781	272,358
減価償却費	72,333	93,398
貸倒引当金の増減額(△は減少)	396	△31
受注損失引当金の増減額(△は減少)	1,300	900
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,292	1,435
受取利息及び受取配当金	△33	△30
支払利息	12,519	10,649
為替差損益(△は益)	346	△1,147
固定資産売却損益(△は益)	△6,199	△1,999
固定資産除却損	—	30
売上債権の増減額(△は増加)	△103,275	14,099
たな卸資産の増減額(△は増加)	42,311	△47,002
仕入債務の増減額(△は減少)	△28,494	11,937
未払消費税等の増減額(△は減少)	△26,173	2,216
その他	△2,013	19,981
小計	231,090	376,795
利息及び配当金の受取額	33	30
利息の支払額	△12,661	△10,825
法人税等の支払額	△3,270	△81,955
営業活動によるキャッシュ・フロー	215,192	284,044
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△255,404	△375,018
有形固定資産の売却による収入	6,200	2,000
無形固定資産の取得による支出	△7,240	△6,095
長期貸付金の回収による収入	21	—
差入保証金の差入による支出	△60	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△256,483	△379,113
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	120,000	—
短期借入金の返済による支出	△10,000	—
長期借入れによる収入	—	420,000
長期借入金の返済による支出	△69,498	△210,595
自己株式の取得による支出	△25	—
配当金の支払額	△62,787	△42,268
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,310	167,136
現金及び現金同等物に係る換算差額	△346	1,147
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△63,948	73,214
現金及び現金同等物の期首残高	397,457	513,953
現金及び現金同等物の四半期末残高	333,508	587,167

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自平成27年9月1日 至 平成28年2月29日)及び当第2四半期累計期間(自平成28年9月1日 至 平成29年2月28日)

当社は、精密部品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。